

今月の特集関連本



診断戦略

Art and Strategy of
Diagnostic Medicine

診断力向上のための
アートとサイエンス

志水太郎

直観的診断と戦略眼とは?

「思考のクセ」とのつきあい方

「病歴」の技術を鍛える

プレシヨックの察知力(ABCD)

思考力を養うカンファレンスとは?

鑑別整理法, 厳選70を収載

医学書院

診断戦略

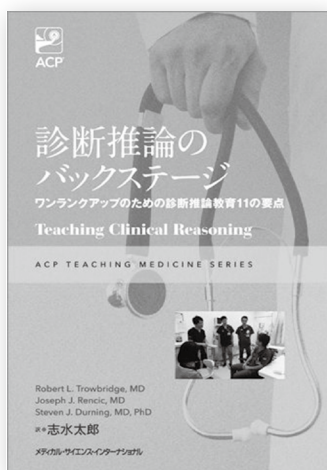
診断力向上のためのアートとサイエンス

志水太郎=著

本体 3,400 円 + 税 / A5 判・288 頁 / 医学書院 / 2014

本特集の企画者・志水太郎先生 (p.843・861・864) の代表作。「診断」における思考に総論的に切り込み、暗黙知をも言語化した画期的な 1 冊。

名医の思考や巧みさ (アート) は再現できるか? その問いに正面から答える。医師が頭のなかで行う診断の方法論・思考過程を総称して「診断戦略」と呼び、名医の診断戦略を明快に言語化。診断に伴うバイアスとのつきあい方、病歴をよりクリアにするための具体的な質問例、鑑別語呂合わせなど、明日から役に立つ心構えとテクニックが満載。経営診断も学ぶ著者による「診断力の鍛え方」。認知科学とハードな臨床経験を背景に紡がれる言葉は、まさにアートとサイエンス。



診断推論のバックステージ

ワンランクアップのための診断推論教育 11 の要点

R.L. Trowbridge, J.J. Rencic, S.J. Durning=著

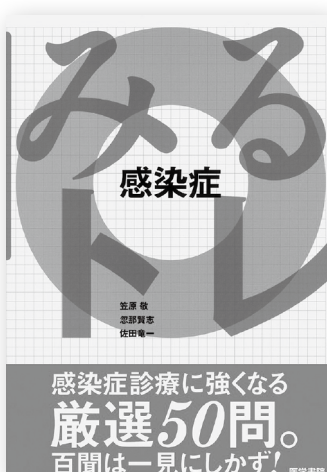
志水太郎=訳

本体 4,600 円 + 税 / A5 変判・280 頁 /

メディカル・サイエンス・インターナショナル / 2016

同じく志水先生による単独訳書。医師による「診断推論」の裏側が理論的に見えてくる! その「教え方」や「生涯教育」にまで触れられている (p.866)。

米国式医学・診断教育のノウハウを凝縮した米国内科学会 (ACP) 刊行の「Teaching Medicine」シリーズ最新刊日本語版。臨床推論・診断推論を教える際の裏付けとなる理論を網羅、具体的な事例に基づき解説を加えた。章末には、診断教育への情熱をもつ志水先生の書き下ろしコメントつき。医学教育に携わる医師や指導医、総合診療医に好適の書。



みるトレ 感染症

笠原 敬、忽那賢志、佐田竜一=編

本体 3,800 円 + 税 / B5 判・200 頁 / 医学書院 / 2015

本誌連載「みるトレ Special」(p.961) の前身「みるトレ 感染症」をまとめた、本特集の企画者・忽那賢志先生 (p.861・869) らの 1 冊。感染症を「みる力」が、みるみる鍛えられる。

身体所見、微生物学的検査所見、画像所見……これらの「みる所見」に現れる診断の手掛かりを見逃さないことが、適切で効率的な感染症診療には欠かせない。本書は、感染症・総合診療のエキスパート 3 人が、すべての臨床医に必要な「みる力」のトレーニングのためにまとめた感染症臨床問題集の決定版。画像とともに、その所見が得られた経過とその所見の診療における位置づけが「実地臨床家」の目線で語られる。一問解くたびに、感染症診療の力がアップする!